



HEXAGON
MANUFACTURING INTELLIGENCE

PC-DMIS 2017 R2

- リリースノート -



- 空白 -

目次

リリースノート	1
このリリースに関する情報	15
新製品情報	16
64-ビット及び 32-ビットのバージョン.....	16
PC- DMIS Universal の Jogbox ユーティリティの実行.....	17
ソフトウェアのインストール	18
ステップ 1: システムおよびハードウェア要件を確認.....	18
ステップ 2: 管理者としてログイン	18
ステップ 3: 既存の設定をバックアップ.....	19
Xcel CMM または Sharpe コントローラの測定機ファイルのバックアップ ...	21
DEA コントローラを実装している DEA CMM の測定機ファイルのバックア ップ.....	22
ステップ 4 : ソフトウェアをインストールする	23
LMS ライセンスのセットアップ.....	26
管理者権限についての説明	30
ステップ 5: インストール後にファイルをコピー	31
Xcel CMM または Sharpe コントローラの測定機ファイルの複製	32
DEA コントローラを実装している DEA CMM の測定機ファイルの複製 ...	33
ステップ 6: PC-DMIS の初回起動.....	33
RS- 232 通信を使用している三次元測定機に関する注意	38
ソフトウェアのアップデート	39
インストールの変更または削除	40
別の言語で PC-DMIS を実行	41
言語パックから非英語バージョンのヘルプをインストールする.....	42
問題対処.....	43
起動が遅くなる.....	43
ソフトウェアの更新は「(407)代理認証が要求される」メッセージを起こす ...	44
衝突報告書を送信するためにネットワークを設定すること	44
既存のバージョンの上にインストールすることで、異常が起こりました。.....	45
旧式の DPUPDATE.EXE の実行は働きません.....	45
Hexagon Manufacturing Intelligence へのお問い合わせ.....	46

補遺 A	47
推奨システム要件	47
オペレーティングシステム	47
Microsoft .NET Framework	48
RAM	48
CPU	49
グラフィックス	49
ハードドライブ	49
表示	50
接続性	50
ブラウザ	50
アンチウイルスソフトウェア	50
三次元測定機に RS- 232 通信を使用するソリューション	51
コマンドラインからのインストーラーに LMS のライセンス情報を提供する	51
補遺 B	54
ファイル位置の説明	54
公開文書	54
Public Documents (報告するディレクトリー)	54
パブリックドキュメント (Fixturing ファイル)	54
プログラムのデータファイル[隠された]	55
ユーザーデータファイル	55
必要なユーザーアクセス権	55
ファイルシステム	56
レジストリ	56
付記	56
付録 C	58
柔軟な治具付きの PC- DMIS の初回インストール	58

リリースノート

PC-DMIS 2017 R2 は、ソフトウェアが大幅に改善されたリリース版です。このリリースに関する詳細およびビデオチュートリアルについては、hexagonmi.com/products/software にログインしてください。

自動要素 - レーザ

- レーザー面上点の[自動要素]ダイアログボックスから、メッシュデータオブジェクトから面上点を抽出することを選択できます。表面点をメッシュデータオブジェクトから抽出するときに、水平および垂直切り抜きによって定義される抽出領域内部の三角形のすべての頂点が最初に考慮されます。表面点をメッシュから抽出するときに、曲がった表面でより正確な結果を得るために、より小さな水平切り抜き領域を使用して、測定値を計算するのに使用される点 (頂点) を制限します。PCD-109572 を参照してください。
- レーザーエッジ点、レーザーフラッシュ及びギャップの自動要素ダイアログボックスには、新しい**レーザー自動要素の複数作成**タブがあります。ステップ距離を使用して均等に間隔を置いた曲線上に複数のエッジポイントまたは F&G を作成することができます。PCD-23429 を参照してください。

自動要素 - スキャン

- [名前を付けて保存]ダイアログボックスを使用して測定ルーチンを古いバージョンの PC-DMIS に保存し、測定ルーチンに旧バージョンでサポートされていないコマンドが含まれている場合、PC-DMIS は注意メッセージを表示します。ユーザは測定ルーチンを古いバージョンに保存するかどうかを選択できません。保存することを選択した場合、PC-DMIS は支援されていないコマンドをコメントに変換し、[支援されていないコマンドはコメントに変

換されました]ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスにはコメントに変換される非サポートコマンドの一覧が表示されます。

この新たな `SaveAsWarningLogEnabled` レジストリエントリを使用して支援されないコマンドをコメントに変換するダイアログボックスの内容でログファイルを作成することができます。

PCD-106618 を参照してください。

- 平面自動要素の適応型自由形状平面スキャンとタッチトリガプローブ (TTP) 自由形状平面の方法では、開始点と方向点を使用して閉じた周囲パスを生成する機能が提供されます。PCD-106633 および PCD-106634 を参照してください。
- 円自動要素の適応型円スキャン方法は、定義済みのパススキャンを生成します。パフォーマンスを向上させるために、生成されて、パスとしてコントローラに送信される点数を最適化しましたが、多数のパス点はコントローラに送信されません。この変更は、適応型円筒同心円スキャンと適応型円錐同心円スキャンにも適用されます。PCD-113356 を参照してください。

自動要素 - ビジョン

- **おすすめアイテム** 機能がライブビューに表示されるようになりました。これにより、作成された要素の測定ジオメトリを表示し、すでに作成された要素を簡単に識別することができます。PCD-23628 を参照してください。
- **おすすめアイテム** ライブビューオーバーレイのイルミネーションコントロールを改善しました。それは リング、セクター及び個々のランプの選択方法を簡略化します。PCD-101353 を参照してください。
- フォーカスグラフがライブビューに表示され、次のように表示されます：
 - 自動フォーカスまたは感知フォーカス
 - フォーカスが有効な自動要素の学習時間またはテスト
 - 面上点 @ 実行時間

- 失敗したフォーカス @ 実行時間

PCD-109133 を参照を参照してください。

- フォーカスリストを[測定機オプション]ダイアログボックスの[デバッグ]タブに追加しました。Vision 測定機に接続された場合は、このオプションを使用して Vision システムのフォーカス関連のデバッグ情報を記録できます。PCD-109136 を参照してください。
- 線と円の外れ値除去アルゴリズムを新しく導入しました。最初のステップは、外れ値の存在に対してより堅牢な改善されたフィットです。大きな値および/または集中値および/または多数の外れ値の影響を受けにくいため、新しいフィッティングは外れ値除去には優れています。ステップ 2 は、どの偏差が異常値であるかを評価する、改善されたカットオフ手順です。

線と円の外れ値除去を使用する既存の測定ルーチンはすべて異なる結果を示す可能性があることを認識しています。しかし、新しい外れ値の除去は古い除去よりも優れていると確信しています。大部分のケースでは、既存の測定ルーチンは、どの点が異常値であり、どの点が異常でないかの差別がより良好であるため、新しい除去によって改善されます。しかし、外れ値の検出と除去を十分に活用するためには、標準偏差乗数を調整する必要がある場合があります。ご不便をおかけして申し訳ございません。

PCD-112994 を参照してください。

自動化

- オートメーションを介して寸法の色にアクセスして変更することができません。PCD-116558 を参照してください。
- OnReportPrintStart イベント及び OnReportPrintEnd イベントを **ApplicationObjectEvents** 及び **PartProgram** オブジェクトに追加しました。PCD-115418 を参照してください。

- 現在のフォルダの読み取りと書き込みのプロパティは、自動化によって公開されます。PCD-114161 を参照してください。
- チップのエラーメッセージを表示するかどうかの自動化により、より多くの制御が提供されます。PCD-112219 を参照してください。

CAD

- **機能 - センサマッピングダイアログボックスのツール**を使用して、センサの順序を指定することができます。PCD-109726 を参照してください。
- Teamcenter インターフェイスは、NX Direct CAD Translation (DCT)、JT DCT、及び CATIA V5 DCT translator を支援しています。PCD-112435 を参照してください。
- Swiftfix Vision コンポーネントは、治具ライブラリで使用できます。PCD-113411 を参照してください。
- 特性 ID がライセンスで有効になっている場合、アイコンはグラフィック表示ウィンドウに特性 ID を表示します。PCD-115430 を参照してください。
- Solid Edge DCT translator が PC-DMIS に追加されました。PCD-116149 を参照してください。
- **キャンセルボタン**は、DCT を使用して CAD モデルをインポートするときに使用できます。このボタンを使用して、モデルのインポートを取り消すことができます。PCD-116292 を参照してください。
- **キャンセルボタン**は、Direct CAD Interface (DCI)を介して NX モデルをインジェントするときに使用できます。PCD-116925 を参照してください。
- マルチスレッドテッセレーションのサポートを追加しました。8 つのコアを持つシステムでは、CAD モデルのインポートのテッセレーション段階が潜在的に 8 倍高速になる可能性があります。PCD-116927 を参照してください。
- Vero Software の VISI フォーマットでファイルをインポートする機能を追加しました。PCD-70711 を参照してください。

GD&T - 選択

- CAD キャプチャを使用して、GD&T 可視性の除外ファイルを作成することができます。PCD--106616 を参照してください。
- GD&T Selection は、最上部点指定の基準ターゲットポイントをサポートします。PCD-109178 を参照を参照してください。

グラフィックス

- クイック機能は、曲線モードで点をボックスで選択する機能を含みます。PCD-114235 を参照してください。
- [回転オプション]ダイアログボックスの[GD&T 吹き出し]エリアのデフォルトオプションが[常に表示]に変更されました。PCD-114651 を参照してください。

ヘルプ/文書

- マシンインターフェイスインストールマニュアル (MIIM) は、.chm ヘルプファイルとして入手できます。このファイルは、主にアプリケーションエンジニアとサービス担当者が使用するため、マシンインタフェースを設定及び構成することができます。ユーザは PC-DMIS のインストールされている言語サブフォルダから MIIM.chm にアクセスできます。 現在英語のみで利用可能です。PCD-108849 を参照してください。

I++

- SAVE / ALIGNMENT ファイル名、...コマンドが使用され、`SendCsyToServer` レジストリー・エントリーが TRUE に設定されている場合、アクティブなアラインメントは SaveActiveCoordSystem ("Name") I++コマンドを使用して I++サーバーに保管されます。パスと拡張子のない As Name ファイル名パラメータが使用されます。この機能は I++クライアントに関連しています。PCD-113147 を参照してください。

インストール

- **おすすめアイテム** INSPECT アプリケーションは、スライドショーを支援するようになりました。スライドショーでは、測定ルーチンを実行するたびに、寸法および情報ラベルの複数のスライドを表示できます。スライドショーでは、スライド上のラベルコントロールを含むテンプレートを作成または編集して、測定された寸法データをレポートすることができます。PCD-116922 を参照してください。

ポイントクラウド

- **おすすめアイテム** サーフェスカラーマップを 1 つ作成し、選択されたサーフェスをグループ化し、各グループに異なる公差値を割り当てることができます。カラーマップに異なる公差を備える複数のグループが含まれる場合、カラースケールはパーセンテージを使用して自動的に表示されます。グループ化された複数の公差を持つカラーマップを使用する表面輪郭寸法を作成するときは、COPFCOLORMAP 要素を展開して個々のグループを表示できます。COPFCOLORMAP グループごとに表面輪郭寸法を作成できます。PCD-108873 を参照してください。
- メッシュ機能を次のように改良しました：
 - メッシュデータオブジェクトにカラーマップを適用し、アノテーションポイントを作成することができます。メッシュが CAD モデルと比較され、メッシュカラーマップが適用されて偏差が表示されます。PCD-97941 を参照してください。
 - 他のインターフェイスからのデータをサポートするために、PC-DMIS はメッシュをデータオブジェクトとして使用できます。メッシュ関数は、メッシュツールバー（表示|ツールバー|メッシュ）にあります。これらの機能にはオプションのメッシュライセンスが必要で、これは LMS ライセンスのみで使用できます。PCD-111533 を参照してください。

- メッシュデータオブジェクトを CAD モデルに整列するか、またはメッシュを別のメッシュオブジェクトに整列することができます。メッシュデータオブジェクトを CAD モデルに整列する場合は、[自動計算]または[ポイントペア/整列の調整]のいずれかの方法を使用できます。メッシュを別のメッシュデータオブジェクトに整列するには、ポイントペア/調整の整列方法を使用する必要があります。メッシュ間の整列では、自動計算方法は使用できません。PCD-113227 を参照してください。
- メッシュツールバーの **Empty Mesh** ボタンを選択すると、現在のメッシュオブジェクトが空になります。これは、通常、新しいメッシュオブジェクトのインポートを準備するために実行されます。メッシュ演算子機能を介して、メッシュを空にするコマンドを測定ルーチンに挿入することもできます。PCD-113012 を参照してください。
- Caliper ツールは次のように改良されました。
 - キャリパーの開始と終了のチップのサイズを個別に設定できます。ゲージダイアログボックスには、開始および終了のチップサイズの別々のオプションが含まれています。また、編集ウィンドウからチップサイズを変更することもできます。PCD-106232 を参照してください。
 - [CAD および図形の設定]ダイアログボックスの[OpenGL]タブの[キャリパー線太さ]オプションを使用して、キャリパー線の太さを設定できます。PCD-106465 を参照してください。
 - Caliper ゲージを作成する場合、PC-DMIS は自動的に開始点、中間点、および終了点を計算します。これらの点は、寸法、構築、および整列の各ウィンドウに有効な選択肢として自動的に表示されます。PCD-106501 を参照してください。

ポータブル

- PC-DMIS は Axial ポータブルアームを支援しなくなりました。工場レベルでの GDS の開発は行われておらず、将来的に GDS をアップグレードまたは強化する予定はありません。PCD-110944 を参照してください。

プローブ - 触覚

- **おすすめアイテム** PC-DMIS は HP-THD プローブを支援しています。PCD-97058 および PCD-110473 を参照してください。
- PC-DMIS は、FDC コントローラを介して、X5 および X5HD プローブヘッドで 500 mm 以上のプローブを較正するために、使用可能な場合は曲げパラメータを送信します。これにより、測定の精度が向上します。PCD-98965 を参照してください。
- PC-DMIS は、標準スタイラスホルダーを備えた LSP-S2 Scan+プローブヘッド及び Leitz 基準線及び PMM-C 型用の変更可能温度センサーを備えるスタイラスホルダーを支援しています。PCD-99133 および PCD-117390 を参照してください。
- HP-C-VE の校正ルーチンで使用できる新しい加重エクステンションは、**プローブユーティリティリスト**から使用できません。PCD-106190 を参照してください。
- 較正ツールを使用して、CTE（熱膨張率）を定義することができます。PCD-115591 を参照してください。

プローブ - 触覚とビジョン

- HP-C-VE プローブの校正ルーチンで使用する新しい重み付き拡張を**プローブユーティリティダイアログボックス**に追加しました。PCD-106190 を参照してください。

レポート

- グラフィカル解析では、色、矢印、線種を変更できます。PCD-113308 を参照してください。
- グラフィカル解析の場合、ラベルオプションはカスタムレポートとテンプレートレポートの間で一貫しています。PCD-80581 を参照してください。
- Print コマンドのオプションとして.txt 出力を追加しました。出力設定ダイアログボックスにも追加しました。PCD-101847 を参照してください。

スキャン

- クイックスキャンでは、CMS などのレーザープローブがサポートされます。リニアオープンスキャンを作成するには、Shift + Ctrl キーを押しながらサーフェスの上をクリック & ドラッグします。ポリラインを作成することもできます。カーブモードでは、開始点で Shift + Ctrl を押しながらポリラインをクリックし、スキャン方向にジェスチャをクリックします。クイックスキャンは、複数のサーフェスとポリライン、およびあらかじめ選択されたサーフェスやポリラインの使用をサポートします。PCD-100815 を参照してください。
- 新しい機能は、AT-403 Leica Tracker の 10 Hz での連続スキャンをサポートします。[パラメータ設定]ダイアログボックスの[プローブ]タブには、連続スキャンの時間と距離の値が表示されます。連続スキャンは時間または距離で行うことができます。連続スキャンを開始または終了するには、Ctrl + I を押すか、または操作 | 開始 / 停止 連続モードメニューオプションを使用できます。PCD-114379 を参照してください。

TeamcenterTeamcenter

- **ファイル | Teamcenter | セットアップ**メニューアイテムが追加されます。このアイテムには、[Teamcenter の設定]ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスの設定オプションを使用すると、次のことが可能になります：

- ルーチンを Teamcenter に保存するときに、改訂番号をファイル名に含めます。
- プローブファイルをユーザーによって指定された場所にオプションで保存します。

これらのレジストリエントリは、Teamcenter インタフェースの設定変更をサポートします：

- `AddRevisionToName` - PC-DMIS が測定ルーチンを Teamcenter データベースに保存するたびに、測定ルーチンのファイル名に改訂番号を追加するかどうかを指定します。
- `ProbeLocation` - プローブファイルを保存する Teamcenter データベースの場所を指定します。
- `SaveProbes` - PC-DMIS が測定ルーチンに含まれるプローブファイルを Teamcenter データベースに保存するかどうかを指定します。
- `SaveProbesInDatabase` - PC-DMIS が測定ルーチンにあるプローブファイルを Teamcenter データベースの定義済みの場所に保存するかどうかを指定します。
- `SaveProbesWithMeasurementRoutine` - PC-DMIS が測定ルーチンにあるプローブファイルを Teamcenter データベースの測定ルーチンと同じ場所に保存するかどうかを指定します。

PCD-114872 および PCD-116137 を参照してください。

温度補正

- **おすすめアイテム** 簡略化された温度補償は、マシンレベルのセットアップに利用できません（**編集 | 初期設定 | 温度補償設定**）。個々の測定機ごとに温度補償を設定できます。この機能強化により、「デフォルト」パーツセンサーを定義することができます。デフォルトのセンサを使用する利点は、異なるデフォルトのセンサ番号を有する別のシステムへの測定ルーチンの移植性です。

温度補償コマンドは簡略化されます。ほとんどのユーザーは、**温度補償の設定**ダイアログボックスで材料を選択する必要があります。

温度補償コマンドでは、複数のパートセンサーを使用して、複数のパートセンサーを提供するコントローラーをサポートすることもできます。部品に取り付けられている1つまたは複数のセンサーを選択できます。PC-DMIS が、複数のセンサーを使用する場合には平均温度を使用します。

編集ウィンドウで変数を使用して、部品温度を決定することができます。これは、測定機の上でセンサを使用することが可能でない場合に便利です。パーツの外部センサは、ロボットが部品をロードするときなど、部品の温度測定に必要です。この機能を使用するには、編集ウィンドウに変数の名前を入力します。

PC-DMIS は、温度補償コマンドを新しい測定ルーチンに自動的に挿入する機能を提供します。

温度補償コマンドは、温度が警告限界値を超えた場合にエラーを生成します。PC-DMIS の「On Error」コマンドは、このエラーをキャッチして、選択された内容に従って変数を設定したり、ラベルにジャンプするのに役立ちます。これは、部品が所望の温度で測定されることを保証するのに役立ちます。

PC-DMIS は温度ゲージコマンド（挿入 | ゲージ | 温度）を提供します。このコマンドは、X スケール、Y スケール、Z スケール、および部品の現在の温度を読み取ります。これは、[編集]ウィンドウの寸法として表示され、PC-DMIS はコマンドの出力を結果に報告します。結果は、DataPage+ または QDAS に送信された統計分析になります。温度ゲージコマンドを温度補償コマンドの直後に配置すると、温度ゲージコマンドは温度補償コマンドを測定します。ゲージの測定値は、独自のロジックを作成する変数に割り当てることができます。

PC-DMIS は、プローブの校正中に温度補償機能を使用します。それを使用するには、校正ツールの定義で、校正球の材料の CTE（熱膨張係数）を定義します。校正の前に温度補償コマンドが実行された場合、校正は温度を補償します。

より多くの柔軟性を必要とするユーザーに対して、詳細な温度補償機能（挿入 | モジュール | 詳細な温度補償）を使用すると、部品または機械の座標系で熱膨張の原点を設定することができます。この特徴は、連続部品温度補償も提供します。

簡略化された温度補償は、次のタイプの測定機では使用できません。

- PC-DMIS NC
- PC-DMIS ポータブル
- 二重アーム CMMs
- Hexagon 社以外の測定機

PCD-114402 を参照してください。

ツールキット

- ブレードスキャンツールキットコマンドでパラメータセットのインポートとエクスポートに使用できるオプションが改善されました。
 - パラメータセットは.xml ファイルとして保存されることができます。
 - ユーザは追加の制御点を保存することができます。
 - パラメータセットは、測定ルーチンの測定単位とともに保存されます。パラメータセットをインポートするときに、必要に応じて、PC-DMIS は測定単位を変換します。
 - 単一セクション及び複数セクションのパラメータセットを保存することができます。複数セクションのパラメータセットを保存する場合、PC-DMIS はセクション名に合わせて、それに応じて適用されません。
 - 1つのセクションから任意のセクションにパラメータセットを適用できます。

PCD-108183 を参照してください。

- ブレードスキャン輪郭コマンドが廃止されました。ブレードレポートコマンドがそれを置き換えました。ブレードレポートコマンドは、ブレードスキャン輪郭コマンドの最新バージョンです。ブレードレポートコマンドは、PC-DMIS からブレード.rpt ファイルを直接作成します。ブレードスキャン輪郭コマンドを使用した測定ルーチンを更新する必要があります。PCD-116252 を参照してください。

トラッカー

- AT-403 トラッカーへの支援を追加しました。PCD-109585 を参照してください。

ユーザーインターフェース

- ツールバーアイコン、アプリケーションフォント、CAD の背景とステータスの色が更新されました：
 - ツールバーにはより現代的で一貫したアイコンを適用し、アプリケーション全体でステータスカラーをより一貫して使用しました。PCD-115197 を参照を参照してください。
 - ライブビュータブの名前を **VISION** に変更し、**LASER** タブと一貫性を保持しました。PCD-113528 を参照してください。
 - 新しい更新されたテーマに合わせて、CAD ウィンドウのデフォルトの背景色を変更しました。PCD-113527 を参照してください。
 - メインアプリケーションウィンドウ及びプローブツールボックスのアクティブなタブには青いアイコンが表示され、どのタブが選択されているかを確認できます。PCD-113529 を参照してください。
 - デフォルトフォントは、より現代の Open Sans です。PCD-113535 を参照してください。

一致のためにヘルプドキュメントのアイコンやその他の画面キャプチャが更新されます。

PCD-113526 も参照してください。

- オフラインプログラミング用の Global 20-40-20 マシンモデルを選択できません。PCD-56393 を参照してください。

このリリースに関する情報

Hexagon Manufacturing Intelligence 社は自信をもって新バージョンの PC-DMIS 2017 R2 をお届けします。このプラットフォームは、完全な製造プロセス制御ソリューションを開発するためにソフトウェアの新たなアスペクトを1つにまとめました。このリリースでは、製造と品質管理プロセスのあらゆる側面を支援するように設計されたソフトウェアのバリエーションがあります。この新規に作成されたパッケージには、確立された PC-DMIS Laser、PC-DMIS NC、PC-DMIS Vision、PC-DMIS Pro、PC-DMIS CAD、および PC-DMIS CAD++ プラットフォームが含まれています。

このバージョンの試験は非常に重要です。このプロセスについては、お客様に様々な試験コンポーネントについて理解してもらえよう、これから十分に説明します。

テストは2つの部分から構成されます。これらは機能試験と統合試験として説明されます。

- 試験作業の大部分は機能エリアで行われます。これは、ソフトウェアの核となる特定の機能が、使用する機械の種類に関わらず正しく動くかどうかを判断する試験です。
- 統合試験とは、基本的に特定種類の機械とのインターフェイスの試験です。

理想的なシナリオでは、Hexagon Manufacturing Intelligence 社は、現場で動作しているソフトウェアを実行しているすべてのハードウェアの少なくとも1つにアクセスできます。ただし、実際にはこれは不可能です。この統合試験計画は、利用可能な種類の測定機の数だけ実施されます。

PC-DMIS 2017 R2 のインストールの後で、システムに問題が起きた場合、統合に関する問題である可能性があります。これは本来の性質の問題である場合、おそらくテストされていない設定で初めて使用した直後に明らかになる場合がよくあります。統合に関する問題を報告するには、「[Hexagon Manufacturing Intelligence 社へ問い合わせる](#)」を参照してください。商用リリースでそのような問題が表面化した場合、この問題を修正することが最優先されます。

現在、ソフトウェアの以前のバージョンがインストールされているソフトウェアの既存ユーザーに対しては、PC-DMIS 2017 R2 を新しいディレクトリにインストールすることをお勧めします。このようにすると、この新バージョンに伴う問題が発生した場合でもそのまま既存バージョンを使い続けることができます。

新製品情報

64-ビット及び 32-ビットのバージョン

次のアイテムが、単にソフトウェアの 32 ビット(x86)のバージョンで支援されましたが、彼らは、64 ビット・バージョンで利用できません。この機能が必要な場合は、32 ビット版（PC-DMIS 2017 R1 など）を支援するバージョンの PC-DMIS をインストールする必要があります。

- CAD（3D ACIS データは DXF ファイルの中に埋め込まれた）
- Translators (Avail、Datalog、MeasureMax、MMIV 及び Tutor)
- Vision (MEI、QVI、ROI、TESAI++および TESAVISIO)。FDC、Leitz および Metronics コントローラは 64 ビット版で利用できることに注意してください。
- CMM (B & S Backtalk, Embedded Board, Manmiti, Manmora, Metrocom, Mitutoyo GPIB, GeoCom, GOM, LK, Numerex, Omniman、およびパラレルポート・ドライバーを使用するものすべて)
- 携帯 (FaroArmUSB, Axila, SMXLaser)

ManualCMM および Tech80 は機能が少なくなっています。

PC- DMIS Universal の Jogbox ユーティリティの実行

PC-DMIS Universal の Jogbox ユーティリティ(PCD_UJB_Util.exe *32)を使用している場合は、下記を行うことを確認してください:

- XP -SP2 と互換性のあるユーティリティを起動します。
 1. デスクトップ上の PC - DMIS ユニバーサル Jogbox ユーティリティアイコンを右クリックし、[プロパティ]を選択します。
 2. [互換性] タブを選択します。
 3. 「このプログラムを互換モードで実行する」チェックボックスを選択し、次に、リストから **Windows XP(サービスパック 2)**を選択選択します。
 4. **適用**を選択し、次に **OK** をクリックします。
- ユーティリティがインストールされた後、管理者としてそれを実行しないでください。
- 現在のユーザのために設定されているログオンアカウントのプロパティを使用してユーティリティを実行します。

ソフトウェアのインストール

ソフトウェアをインストールするには下記のステップに従います:

ステップ 1: システムおよびハードウェア要件を確認

新しいバージョンをインストールする前に、上記の「[推薦されたシステム要件](#)」に記述されたシステムおよびハードウェアの要件を満たしているか確認してください。また、USB ポートロックまたは成功にインストールされるための有効なソフトウェア・ライセンスを持っている必要があります。IT 専門家は、この情報のお手伝いをすることができます。

- コンピュータのプロパティを見るには、**マイ コンピュータ** アイコンをハイライトして右クリックし、**プロパティ** を選択します。
- グラフィックカードの表示プロパティを確認するには、[スタート | 設定 | コントロールパネル] を選択して[表示と設定] を選択します。

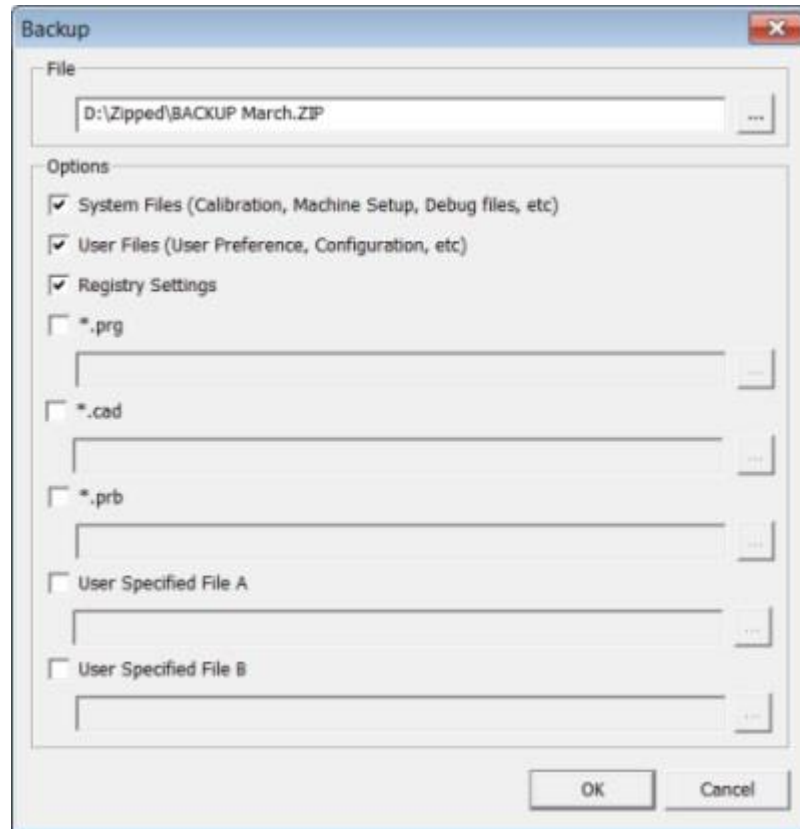
ステップ 2: 管理者としてログイン

新しいバージョンをインストールし起動するには、まず管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

ステップ 3: 既存の設定をバックアップ

以前のバージョンからの設定をバックアップします。デフォルトでは、pcdlrn.ini ファイルに保存されている設定が非常に古いバージョンのソフトウェアであっても、PC-DMIS 2017 R2 は同じコンピュータの以前のインストールから既存の設定を移行しようとします。

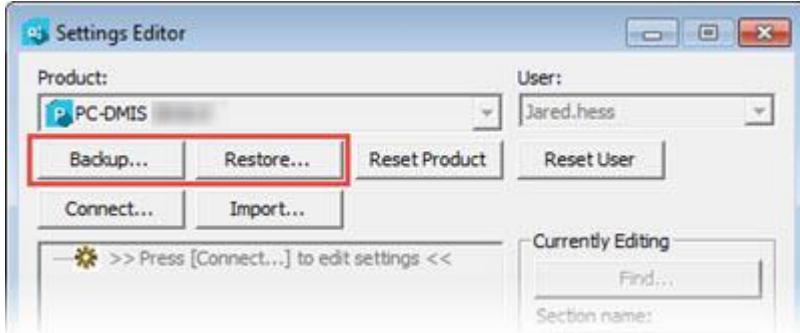
- 現行のバージョンが pcdlrn.ini ファイルをその設定に使用される場合は、pcdlrn.ini ファイルをバックアップしてください。このファイルは Windows のシステムディレクトリにあります。ファイルのコピーを安全な場所に保存します。
- 現行のバージョンが PC-DMIS セッティング・エディターを使用する場合は、PC-DMIS セッティング・エディターのデータをバックアップしてください。手順は次のとおりです:
 1. Settings Editor を起動して下さい。
 2. **バックアップボタン(またはエクスポート)**をクリックします。**バックアップダイアログ** ボックスが現れます。



バックアップのダイアログボックス

3. ファイルボックスでバックアップされたファイルの安全な保存先を定義し、ファイルに.zip 拡張子を付与します。
4. 最初の3つのチェックボックスをオンにし、**OK** をクリックします。

コンピュータを交換したり、別のコンピュータにある設定を転送する場合は、Settings Editor のバックアップと復元ボタンを使用できます：



バックアップと復元ボタン

バックアップ及び復元に関する機能の詳細については、Settings Editor のマニュアルを参照してください。

Xcel CMM または Sharpe コントローラの測定機ファイルのバックアップ

ユーザが Brown と Sharpe Xcel CMM、または Sharpe コントローラを使用する CMM を使用していて、新しいコンピュータに PC-DMIS 2017 R2 をインストールする場合には、前のバージョンからの次の CMM 測定機ファイルのコピーを安全な場所に保存します。

- comp.dat

PC-DMIS 2013 MR1 から始めて、comp.dat ファイルは次のフォルダに移られます:

C:\ProgramData\WAI\PC-DMIS\version

- downl.oad

これらのファイルは、オペレーティングシステムに関係なく、2013 MR1 以前のすべてのソフトウェアバージョンのインストール（ルート）ディレクトリにあります。

インストール（ルート）ディレクトリの場所は次のとおりです：

C:\Program Files\WAI\PC-DMIS *version*

3.7 の MR3 以下の PC-DMIS のバージョンについては、インストール(ルート)ディレクトリーの位置は次のとおりです：

C:\PCDMISW

DEA コントローラーを実装している DEA CMM の測定機ファイルのバックアップ

DEA または DEA 機械コントローラを実装している他の CMM を使用しており、PC-DMIS 2017 R2 を新しいコンピューターにインストールする場合、旧バージョンから安全な場所に次の CMM 機械ファイルのコピーを保存します(ファイルは CMM の機種によって変わります)：

- cosdat1.bin
- compens.dat

PC-DMIS 2013 MR1 から始めて、compens.dat ファイルは次のフォルダに移られます：

C:\ProgramData\WAI\PC-DMIS*version*

- Fzyfile.txt
- Rcxfile.txt
- Rmxfile.txt
- 機種名に測定機のシリアル番号を備えた任意のファイル

これらのファイルは、オペレーティングシステムに関係なく、PC-DMIS 2013 MR1 以前のすべてのソフトウェアバージョンのインストール（ルート）ディレクトリにあります。

インストール（ルート）ディレクトリの場所は次のとおりです：

C:\Program Files\WAI\PC-DMIS *version*

3.7 の MR3 以降の PC-DMIS のバージョンについては、インストール(ルート)ディレクトリーの位置は次のとおりです：

C:\PCDMISW

ステップ 4：ソフトウェアをインストールする

下記のステップは典型的なインストールの実行方法の説明です。異なるバージョンの PC-DMIS 2017 R2 を実行する場合または追加オプションで作成されたカスタムをインストールする場合、インストール画面が異なる場合があります。尚、ご使用の PC - DMIS ライセンスは別のオプションで構成されてもかまいません


1. インストールメディアから PC-DMIS インストールファイルの場所に移動するか、またはファイルをダウンロードした場合はダウンロードしたファイルが含まれているディレクトリを開きます。インストールファイルは次のようになります。

Pcdmis2017_R2_Release_##.###.#_x64.exe

#記号は、特定のバージョンとビルド番号を表します。

2. この実行可能ファイルをダブルクリックして、インストールプログラムを開きます。
3. セキュリティ警告が表示される場合は、**実行**をクリックしてください。
4. 初期ライセンス画面で、ライセンス契約を読む上、**ライセンス契約条件に同意する**チェックボックスを選択します。
5. 下部のボックスで、インストールフォルダを定義できます。デフォルトでは、ファイルは次の場所にインストールされます：

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS 2017 R2 64-bit

フォルダを変更するには、ブラウズボタン  をクリックしてフォルダを選択するか、ボックスに新たなパスを入力します。

6. ライセンス契約に同意したら、インストールフォルダを選択し**次へ**をクリックしてライセンス取得画面を開きます。
7. ライセンス取得画面で下記のようにライセンスのタイプを選択します。
 - **LMS(ソフトウェア)ライセンス** - ソフトウェアライセンス(権利 ID と呼びます)をお持ちの場合、このオプションを選択します。このオプションの下のボックスに記入します。
 - **LMS ライセンスサーバー** - 接続するライセンスサーバーがある場合、このオプションを選択して、サーバーアドレスを入力します。
 - **HASP** - ユーザがポートロック (ライセンスされたオプションの付いた物理 USB デバイス)を持っている場合は、それがコンピュータに接続されていることを確認してから、このオプションを選択します。

LMS ライセンスの設定方法のヘルプについては、下記の「[LMS ライセンス設定](#)」を参照してください。

8. **次へ**をクリックします。

9. 追加ソフトウェアのインストールを選択します。カスタムインストールパスを選択した場合、追加のソフトウェアはデフォルトの測定ルーチンディレクトリ（通常は C:\Program Files\Hexagon\）にインストールされます。
- **INSPECT** - これは PC-DMIS 2017 R2 に対する作業者のインターフェースです。「INSPECT」から PC-DMIS 2017 R2 を開いてレポートを生成し、測定ルーチンを実行することができます。ローカルディレクトリまたは MMS サーバーの両方から測定プログラムを実行できます。
 - **PDF Converter 5.0** - このサードパーティツールは PC-DMIS 2017 R2 レポートを PDF 出力に変換します。
 - **通知センター** - このアプリケーションは、PC-DMIS 2017 R2 などのクライアントアプリケーションからコンピュータまたは測定デバイスに通知を送信します。これは、測定機にエラーが発生したときなど、特定のイベント中に実行されます。

Hexagon 顧客体験向上プログラムに加入 - 製品を改良し、データを Hexagon Manufacturing Intelligence 社に送信するには、このチェックボックスを選択します。使用状況データが送信されないようにするにはチェックボックスをオフにします。このプログラムの詳細については、[Hexagon 顧客体験向上プログラム](#)の Web サイトを参照してください。

また、PC-DMIS がインストールされた後、Hexagon Manufacturing Intelligence 社に使用データを送信するかどうかを選択できます。詳細については、「[ソフトウェアの更新](#)」を参照してください。

10. [インストール] をクリックして、インストールを開始します。プログレスバーは全体の進展状況を表示します。
11. インストールが終了すると、結果画面に警告またはエラーがあれば表示されます。それには下記のオプションも含まれます。

- **PC-DMIS を起動** - 現在 PC-DMIS 2017 R2 を起動するには、このチェックボックスを選択します。コンピュータでこのバージョンを初めてインストールする場合は、これを行って必要なレジストリエントリを初期化する必要があります。詳細については、「[管理者特権](#)」を参照してください。
- **リリースノートを表示 - 閉じる** をクリックした後、このリリースでの新規情報または変更点を説明する.pdf を表示するにはこのチェックボックスをクリックします。

12. **閉じる** をクリックしてインストールプログラムを閉じます。

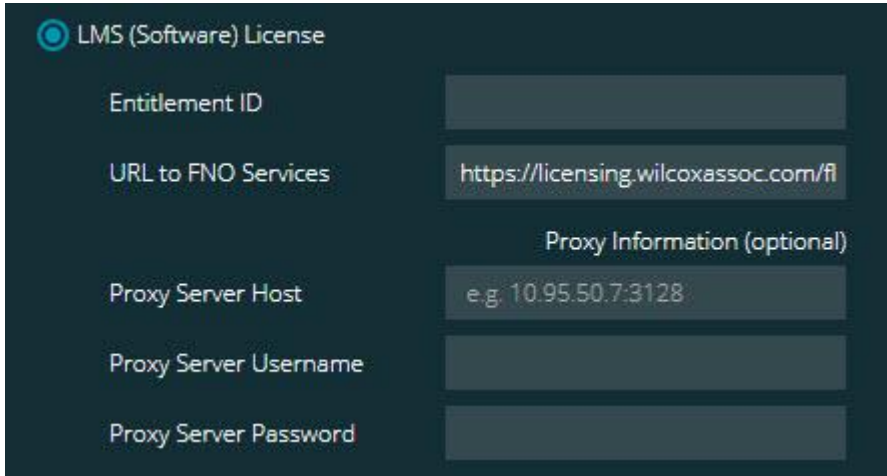
LMS ライセンスのセットアップ

このトピックは以下を行う必要がある場合に情報を提供します。

- LMS(ソフトウェア)ライセンスの設定
- LMS ライセンスサーバーへの接続
- LMS ライセンスの更新
- コマンドラインからのインストーラへの LMS ライセンス情報の提供

LMS (ソフトウェア) ライセンス

[ライセンス取得画面](#)で **LMS(ソフトウェア)ライセンス** を選択し、インストール中にユーザーのシステム内に有効なライセンスがない場合、下記のオプションを記入する必要があります。



LMS (ソフトウェア) ライセンスのオプション

1. 次のオプションを完了します:

- **権利 ID** - 権利 ID を保有している場合、発行された ID をボックスに入力するか貼り付けます。以前のインストールでこの値を入力済みの場合、インストーラはその値をレジストリから引き出して入力します。
- **FNO サービスへの URL** - これはライセンスを検証する URL を示します。それはこの URL を持っていることを確認してください。

<https://licensing.wilcoxassoc.com/flexnet/services>

- **プロキシ情報** - インターネットに接続するためにプロキシサーバーが必要なネットワーク上にコンピュータがある場合は、IT 担当者に連絡してこの情報を入手してください。サーバーホスト、ユーザー名、およびパスワードを入力します。

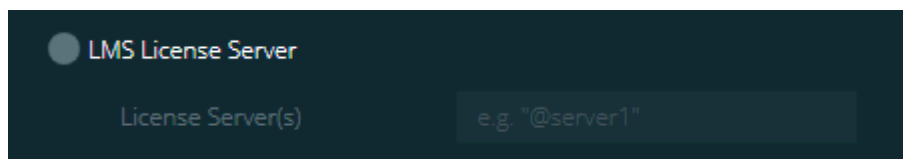
- #### 2. 「権利 ID」を所持せずライセンスをオフラインで有効化する必要がある場合、CLM Admin アプリケーションを使用します。CLM Admin アプリケーションから、新しいライセンスを有効化するを選択し、画面上の指示に従います。



CLM Admin アプリケーションの使用方法については、Hexagon Client License Manager (CLM) ソフトウェアのマニュアル (pcdmisclm.chm) を参照してください。これは言語サブディレクトリにあります。

3. **次へ**をクリックします。インストールソフトウェアは、インターネットに接続してライセンスをアクティブにします。その後、LMS のライセンスを使用するために必要な FLEXnet ライセンスサービスをインストールします。

LMS ライセンスサーバー



LMS License Server オプション

ライセンスサーバーを使用する場合、ライセンスサーバーボックスでこれを選択してライセンスサーバー名を入力します。このテキスト行の形式は、**ポート番号 @サーバー名**です。ここで、**ポート番号**はライセンスサーバーの TCP ポート番号であり、**サーバー名**はサーバーの名前です。

デフォルトの TCP ポート番号は 27000 です。特定のポートを指定しない場合、ライセンスサーバーはデフォルトを使用します。例えば、以下は同じことを意味します：

@server1

27000@server1



このオプションを使用する場合は、サーバーアドレスの前に「@」記号を置きます。「@」記号が中断されている場合は、インストールのプロセスは地元でライセンスを探そうとします。これはエラーに帰着する恐れがあります。

複数のライセンスサーバーを指定することもできます。セミコロンで区切ることができます。例えば、licenseserver1、licenseserver2、licenseserver3 というライセンスサーバーが 3 台あり、すべてデフォルトの TCP を使用する場合を考えます。これらのライセンスサーバーは以下のようにすべて 1 行にまとめて指定することができます。

```
@licenseserver1;@licenseserver2;@licenseserver3
```

LMS ライセンスの更新

ライセンスのセットアップが完了し、PC-DMIS 2017 R2 をインストールすると、起動時および起動後 8 時間ごとにライセンスの更新が確認されます。ライセンスの更新が利用可能な場合、この通知が表示されます。

PC- DMIS

PC - DMIS ライセンスのアップデートがあります。ここでそれらを適用すると、PC- DMIS の再起動が必要になります。あなたは今、更新を適用しますか。

更新プログラムを適用するには、[はい]をクリックします。いいえをクリックすると、PC-DMIS 2017 R2 は 8 時間の動作ごと、または次回起動時にメッセージを表示します。

- オプションか要素を追加する場合、変更を適用する選択を与られます。変更を適用すると、ポップアップメッセージがシステムトレイに表示されます。

- オプションまたは要素を削除すると、PC-DMIS 2017 R2 再起動を要求するメッセージが表示されます。それを知らせるポップアップメッセージもシステムトレイに表示されます。
- オプションか機能が旧式の場合、それは自動的に削除されます。



更新適用後に、PC-DMIS が正しく機能することを保証するために、PC-DMIS を再起動する必要があります。

コマンドラインからのインストーラーに LMS のライセンス情報を提供する

LMS 許可の情報は、コマンドラインのパラメーターによってインストーラーへ送ることができます。詳細は、付録 A で「[コマンドラインからのインストーラーに LMS ライセンス情報を提供する](#)」を参照してください。

管理者権限についての説明

2012 より前のバージョンの PC-DMIS では、(最後に使用したプローブ、リスト角度などのアイテム)いくつかのシステム設定がコンピュータの全ユーザーで共有されていたために、管理者として PC-DMIS を実行することが必要です。これらの設定は Windows レジストリの CURRENT_USER セクション(ユーザー固有の設定)ではなく LOCAL_MACHINE セクションに格納されている必要がありました。

LOCAL_MACHINE セクションに格納されている設定を変更するためには管理者権限が必要です。

2012 以降の PC-DMIS バージョンでは、PC-DMIS に使用される設定メカニズムが変更され、インストールの最後に初めて実行する際に管理者アクセス権を必要とするのみになりました。それ以降は標準のユーザーアクセス権で十分です。

PC-DMIS インストーラは、セットアップ プロセスが管理者権限で実行されるよう
要求するフラグをセットアップ実行ファイル

(Pcdmis2017_R2_Release_##.#.###.#_x64.exe) に組み込んでいます。現在のユー
ザー権限がそれより低い場合、セットアッププログラムは管理者権限を持つユ
ーザー名とパスワードの入力を求めるプロンプトを表示します。

インストールを完了し、初めて PC-DMIS 2017 R2 を実行するときは管理者権限で
起動しなくてはなりません。[\[インストールに終了後に PC-DMIS を起動する\] チェックボックス](#)をマークした場合、インストールが終了した時に PC-DMIS 2017 R2
はインストーラの元の権限レベルを PC-DMIS に引き渡すことでこれを自動的に行
います。

ただし、このチェックボックスをマークしない場合、[ステップ 6](#)で説明するよう
にショートカットを右クリックして [\[管理者として実行\]](#) を明示的に選択する必要
があります。

PC-DMIS 2017 R2 で必要とされるファイルシステムおよびレジストリ権限につい
ての詳細は、付録 B にある「[必要なユーザーアクセス権](#)」を参照してください。

ステップ 5: インストール後にファイ ルをコピー

これらのファイルが利用可能な場合、それらを旧 PC-DMIS のインストールディレ
クトリから新バージョンをインストールしたディレクトリにコピーします:

- sysparam.dat
- downl.oad
- Fzyfile.txt
- Rcxfile.txt

- Rmxfile.txt

PC-DMIS 2010 MR2 バージョンから、PC-DMIS のより新しいバージョンがインストールされる場合、PC-DMIS は自動的にプログラム データ ファイル ディレクトリーに共通のシステムファイルをコピーします。

volcomp 方法 13(ASI)および 14(BNS)と共に使用される comp.dat、compgrid.at、comp.enc、および compens.dat volcomp ファイルは、プログラム・データファイル・ディレクトリーにある必要があります。PC-DMIS の新しいバージョンがインストールされると、これらのファイルは、自動的に新しいバージョンのプログラムのデータファイルのディレクトリーにコピーされます。このディレクトリーのデフォルトのパスの場所については、付録 B の「[ファイル場所の説明](#)」を参照してください。

容積補償のファイル及びおよびセットアップに関する追加情報については、機械インターフェースのインストール説明書(MIIM)を参照してください。

ユーザは PC-DMIS がインストールされている en サブフォルダ内の MIIM.chm ヘルプファイルにアクセスできます。

Xcel CMM または Sharpe コントローラの測定機ファイルの複製

ユーザが Brown と Sharpe Xcel CMM、またはシャープコントローラを使用する CMM を使用していて、新しいコンピュータに PC-DMIS 2017 R2 をインストールした場合には、新しいコンピュータ上の次の場所にバックアップされた CMM のマシンのファイルをコピーします。

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS *version*

これらのファイルの詳細については [Xcel CMM または Sharpe コントローラの測定機ファイルのバックアップ](#) を参照してください。

DEA コントローラーを実装している DEA CMM の測定機ファイルの複製

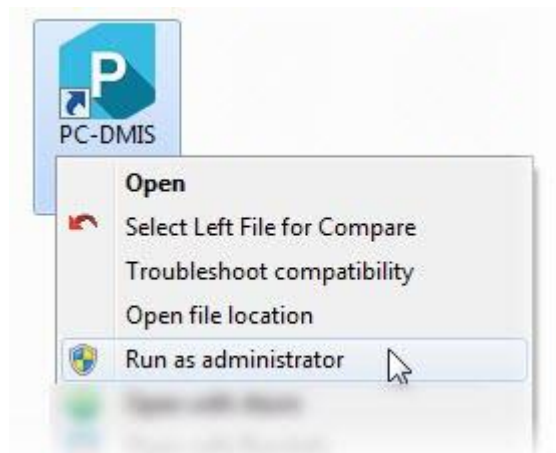
ユーザーが DEA 機械のコントローラを実装している DEA 型の CMM を使用して、新しいコンピュータに PC-DMIS 2017 R2 をインストールした場合には、新しいコンピュータ上の次の場所にバックアップされた CMM 測定機のファイルをコピーします:

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS *version*

これらのファイルの詳細については「[DEA コントローラーを実装している DEA 型の測定機ファイルのバックアップ](#)」を参照してください。

ステップ 6: PC-DMIS の初回起動

1. PC-DMIS 2017 R2 を初めて実行する場合は、[スタート]、[すべてのプログラム]、[PC-DMIS 2017 R2 64-bit]の順に選択します。
2. ショートカットの一覧より、[オンライン]または[オフライン]アイコンのいずれかを右クリックし、[管理者として実行] オプションを選択します (インストールの最後に [PC-DMIS を起動] チェックボックスを選択しなかった場合のみに必要とされる)。



管理者として実行オプション

これにより、プログラムは必要な機械固有の設定を書き込むことができます。

3. 以前のバージョンが pcdlrn.ini ファイルに使用された場合、PC-DMIS 2017 R2 は PCDLRN.INI ファイル内の設定がレジストリ設定として使用する必要があるかどうかを尋ねます。プロンプトでは **はい** をクリックします。それ以外の場合、PC-DMIS 2017 R2 は出荷時の設定を読み込みます。

以前のバージョンが設定エディタを使用した場合、以前のソフトウェア設定を使用するには、次の操作を行います：

- a. PC-DMIS 2017 R2 を閉じます。
- b. 開始メニューから、[PC-DMIS Settings Editor] を起動します。
- c. 開いた後、[インポート] をクリックし、本文書の「[ステップ 3: 既存の設定をバックアップ](#)」セクションでバックアップした PCDRegFile.dat ファイルを開きます。PC-DMIS 2017 R2 はユーザー設定をインポートします。
- d. PC-DMIS Settings Editor の終了

4. PC-DMIS 2017 R2 を起動すると、デフォルトの Web ブラウザに**更新内容**情報が表示されます。PC-DMIS 2017 R2 を起動した後、**更新内容**情報を表示することもできます。これを行うには、[ヘルプ|**新機能**]をクリックします。

その後のスタートアップ

以降のスタートアップでは、通常、汎用**オフライン**または**オンライン**ショートカットをダブルクリックすることで PC-DMIS 2017 R2 を起動できます：



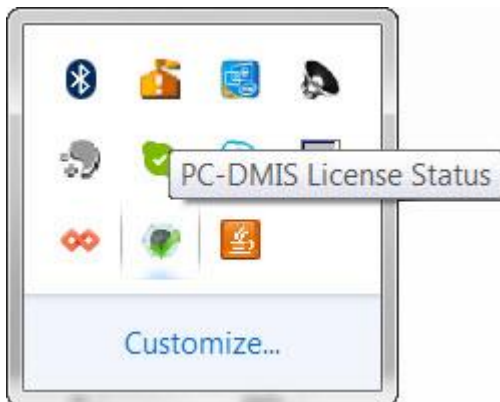
PC-DMIS 2017 R2 ショートカット

PC-DMIS 2017 R2 が起動すると、**ソフトウェアライセンス**画面が開き現在のライセンス契約内容を表示します。契約書を深く読み、最後に「**使用許諾契約書に同意します**」をクリックして続行してください：



ソフトウェアのライセンス画面

PC-DMIS 2017 R2 が実行されると、システムトレイにアイコンが表示されます。ポートロックまたはライセンスが正しくプログラムされている場合、以下に示すような緑色のチェックマークが表示されます。



有効な PC-DMIS ライセンスメッセージ

ポートロックが接続されていない、あるいは正しくプログラムされていない場合、または LMS ライセンスを使用しているがソフトウェアが正しくライセンスを付与されていない場合、赤色の点がオーバーレイされたアイコンが表示されます。ライセンスが切断されていることを示すポップアップメッセージが表示されます。



切断された PC-DMIS ライセンスメッセージ

ライセンスが切断されると、PC-DMIS 2017 R2 は通常に機能しますが 5 分後に自動的に閉じられます。これが起きた場合、直ちにデータを保存してください。

RS- 232 通信を使用している三次元測定機に関する注意

デフォルトでは、PC-DMIS 2017 R2 は COM1 通信ポートを介して通信します。ユーザは、シリアル-USB アダプタケーブルまたはシリアルアダプタカードが古い RS- 232 CMM と通信するためにインストールされた場合、Windows が自動的に作成した番号にこのポート番号を変更する必要があります。

COM ポート番号を変更するには：

1. Windows のデバイスマネージャでは、Windows がコンピュータ上の通信ポートに割り当てられた番号をメモします。ヘルプを表示するには、Windows のヘルプを参照してください。
2. オンラインモードで PC- DMIS をスタートし、次に、測定ルーチンを開きます。
3. **編集 | 環境設定 | 測定機インターフェイスのセットアップ**を選択します。
4. **通信ポートボックス**で、Windows のデバイスマネージャからポート番号を入力します。

ソフトウェアのアップデート

デフォルトでは、インターネットに接続されている場合 PC-DMIS は自動的にソフトウェアのアップデートがないかチェックします。利用可能なアップデートを検出すると、HEXAGON UPDATES というアプリケーションが開かれて、アップデートがあることを知らせます。これらのアップデートをダウンロードし、インストールすることができます。

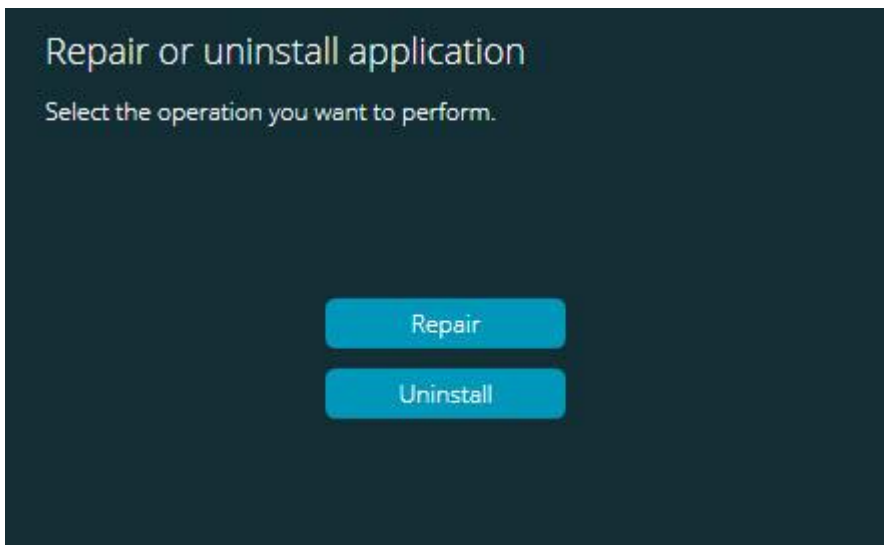
また、手動でアップデートを確認することもできます。これを行うには、[ヘルプ | ソフトウェアの更新を確認]を選択し、HEXAGON UPDATES というアップデートアプリケーションで必要なオプションを選択します。

HEXAGON UPDATES アップデータアプリケーションには、[設定]ダイアログボックスが含まれています。ダイアログボックスで「私は参加したい」オプションを使用して、Hexagon 社の顧客体験向上プログラムに参加し、Hexagon Manufacturing Intelligence 社に使用データを送信するかどうかを選択できます。Hexagon Manufacturing Intelligence は、このデータを使用して、ユーザーの体験を向上させます。このプログラムの詳細については、[Hexagon 顧客体験向上プログラム](#)の Web サイトを参照してください。

アップデータアプリケーションの詳細については、PC-DMIS Core 文書の「ソフトウェアのアップデート」を参照してください。

インストールの変更または削除

インストールが完了した後も、必要に応じてインストール内容を修正または削除することができます。これを行うには、インストールプロセスを開始するのと同様、Pcdmis2017_R2_Release_###.###.###_x64.exe というファイルをダブルクリックします。セットアップでは、次のオプションを含む画面が表示されます：



アプリケーションの修復またはアンインストール画面

- **修復** - このオプションでは、すべての製品ファイルを元々インストールされていたとおりに再インストールできます。このオプションはインストールによって全ファイルが正しくインストールされなかった場合に問題点を解決するのに役立つことがあります。
- **アンインストール** - このオプションはアプリケーションをインストール場所から削除します。また、コントロールパネルのプログラムおよび機能コントロールパネルを使用してアプリケーションをアンインストールすることもできます。

別の言語で PC-DMIS を実行

PC-DMIS 2017 R2 の最初のインストールファイルにはサポートする言語すべてのユーザーインターフェイスファイルが含まれています。PC-DMIS 2017 R2 をインストールすると、使用しているオペレーティングシステムの言語をもとに言語ファイルがインストールされます。

オペレーティングシステムの言語以外の言語で PC-DMIS 2017 R2 を実行するには、**ファイル | 言語メニュー**を選択し、希望する言語をクリックします。PC-DMIS は、アプリケーションがシャットダウンして再起動することを示すメッセージを表示します。続けるには、「はい」をクリックして下さい。PC-DMIS 2017 R2 はすぐに閉じ、選択された言語で再度開きます。

英語以外の言語でヘルプコンテンツを入手するには、「[言語パックから非英語のヘルプファイルをインストールする](#)」を参照してください。

言語パックから非英語バージョンのヘルプをインストールする

メインのインストールパッケージに含まれているヘルプファイルは英語版のヘルプファイルのみです。これらはインストール言語に関係なくインストールされます。しかし、非英語版のヘルプファイルはメインのインストールファイルに含まれていません。

これは、非英語版をインストールするか非英語版に切り替える場合、何らかのヘルプコンテンツを見るためにはまずその言語から言語パックをインストールする必要があることを意味します。これを行わないと、ヘルプファイルにアクセスした際にヘルプファイルが見つからないというエラーが PC-DMIS 2017 R2 から表示されます。

言語パックにはその言語のすべてのヘルプコンテンツが含まれています。言語パックをインストールするには、以下の操作を行います：

1. 希望する言語パック (および .exe ファイル) をインストールメディアから探すか、あるいは以下のインターネットサイトからダウンロードします：

ftp://ftp.wilcoxassoc.com/PC-DMIS-Versions/Release/2017_R2/Release/x64/Lang/

2. .exe ファイルを実行し、指示に従います。このステップを行うには管理者権限は必要ありません。

この手順は、該当する言語の 2 文字を当てはめられた PC-DMIS 2017 R2 インストールサブディレクトリにヘルプコンテンツがインストールされます。これで、ソフトウェアから言語を切り替え、問題なくヘルプコンテンツにアクセスできるようになります。

問題対処

このトピックでは、インストール、起動、およびソフトウェアアップデートの問題をトラブルシューティングする情報を提供します。

起動が遅くなる

問題: お客様は、「[推奨システム要件](#)」トピックに説明されるように、推奨システムの最低要件に満足したコンピュータを使用して、それがソフトウェアを起動することに 30 秒以上かかります。

説明: Windows 7 のコンピュータで PC-DMIS 2017 R2 を実行しようとしても、インストールウィザードで[管理者として実行]がマークされていない場合に、これは、起こります。これは HASP ドライバーをロードする問題を起こします。「[ステップ 4: ソフトウェアのインストール](#)」で説明されたように HASP ライセンスタイプでインストールされる場合のみには、この問題を発生することに注意してください。

対処: PC-DMIS 2017 R2 をアンインストールし、インストールファイルを右クリックして[管理者として実行]を選択することによって、それを再インストールしてください。

ソフトウェアの更新は「(407)代理認証が要求される」メッセージを起こす

問題:ヘルプ|アップデートの確認のメニューオプションを使って、ソフトウェアを更新し、Web アップデータが開かれたときに、次の情報を表示します：「リモートサーバーがエラーを返しました：(407) プロキシ認証が必要です。」

説明:お使いのコンピュータ上のファイアウォールは、サーバへの接続からアップデートをブロックしている可能性があります。

対処: ファイアウォールの設定をチェックして、次のアドレスが閉鎖されないことを確認してください: <http://www.wilcoxassoc.com/WebUpdater>

衝突報告書を送信するためにネットワークを設定すること

問題: `/nocrashdump` ソフトウェア構成スイッチが使用されなくても、PC-DMIS 2017 R2 がまだ、自動的に Hexagon Manufacturing Intelligence 社に衝突レポートを送信することはできません。(このスイッチは、PC-DMIS 2017 R2 の衝突報告書を無効にします)。

説明:お使いのコンピュータ上のファイアウォールは、サーバへの接続からアップデートをブロックしている可能性があります。PC-DMIS 2017 R2 がクラッシュした場合には、クラッシュレポートを送信するために HTTP 経由で PHP スクリプトを使用しています。これが失敗した場合、それは crashreport@wilcoxassoc.com にレポートを送信しようとしています。これは、標準の SMTP 電子メールプロトコルを使用しようとしています。これに失敗すると、それは、MAPI を介して電子メールを送信しようとしています。

対処: クラッシュレポートシステムは、ポート 80 を使用してサーバー (<http://www.wilcoxassoc.com/>) にアクセスできる必要があります。

既存のバージョンの上にインストールすることで、異常が起きました。

問題： ソフトウェアが既存のバージョンの上にインストールされ、今では、ソフトウェアが正常に動作しません。潜在的徴候は以下を含みます：

- ソフトウェアが起動されたら、「プロシージャエントリポイント」エラーが発生します。
- [ヘルプ|バージョン情報]が選択されると、新しいビルド番号が表示されません。
- 報告されたバグの修正は、修正されていないようで、且つ、PCDLRN.EXE は元のリリースよりも新しい日付と時刻を持っていません。

説明： 何か既存のバージョンの上に正しくインストールされていませんでした。

対処： コントロールパネルを利用して、既存のバージョンを完全にアンインストールしてから、インストールしようとしているバージョンを再インストールします。

旧式の DPUPDATE.EXE の実行は働きません

問題: 遺産 DPUPDATE.EXE は実行できない。

説明: PC-DMIS 2017 R2 が管理者特権なしで実行される場合、DPUPDATE.EXE は働きません。

対処: 管理者権限で PC-DMIS 2017 R2 実行します。

Hexagon Manufacturing Intelligence へのお問い合わせ

PC-DMIS 2017 R2 リリースのテクニカルレビューに参加している場合、<http://www.pcdmisforum.com/forum.php> の適切なテクニカルレビューフォーラムへフィードバックを投稿してください。テクニカルレビューについては Hexagon 社のテクニカルサポートへお問い合わせしないよう、お願いします。

PC-DMIS 2017 R2 リリースの *商用リリース版*をお使いであり、テクニカルサポートについて詳細をお求めの場合、hexagonmi.com/contact-us へ問い合わせるか、または hexagonmi.com/products/software を参照してください。また、(1) (800) 343-7933 の電話番号で Hexagon 社のテクニカルサポートへ問い合わせることも可能です。

補遺 A

推奨システム要件

32-ビットユーザへの注意 PC-DMIS 2017 R2 リリース以降から、オペレーティングシステムのバージョン番号に関わらず、もはや 32 ビットの Windows オペレーティングシステムを支援しません。PC-DMIS 2017 R1 は Hexagon Manufacturing Intelligence がサポートする PC-DMIS の最後の 32 ビットバージョンになります。すでにそうしていないならば、必要に応じて、測定装置のオペレーティングシステムとハードウェア（パソコン）をより現在で安定した Windows オペレーティングシステム（例えば Windows 10、Windows 8.1 または Windows 7）などのような最新の 64 ビット・システムに更新してください。

最新のオペレーティングシステムへ移っている顧客は、以下から利益を得ます：

- 劇的に強化されたセキュリティ
- モバイルワーカーの幅広いデバイスの選択
- ユーザーの生産性の改善
- 改善された管理機能により、総経営コストの削減

オペレーティングシステム

PC-DMIS 2017 R2 は 64 ビットの Windows 10、Windows 8.1、Windows 8、Windows 7、及び Windows Vista のもとで稼働されます。その他のオペレーティングシステムには対応していません。



サードパーティ製のドライバを使用する場合、オペレーティングシステムの互換性を確認するには最寄の Hexagon Manufacturing Intelligence 社担当へお問い合わせください。

仮想マシン (VM) 内での PC-DMIS の実行は、VM が OpenGL 3 以上を支援している場合のみにサポートされます。



PC-DMIS Vision 測定機は 32 ビットおよび 64 ビットの Windows 8 をサポートしません。

Matrox の Framegrabber PC- DMIS Vision ハードウェア部品は、64 ビットのオペレーティング・システムを支援していません。

Microsoft .NET Framework

Windows 対応の Microsoft .NET Framework 4.6.1。Microsoft .NET Framework 4.6.1 をお持ちでない場合は、PC-DMIS インストーラがそれをインストールします。

RAM

- 4GB 以上の RAM (4 GB は 32 ビット OS 上で利用可能な最大のメモリです)

CAD データファイルのサイズと使用するテセレーション乗数値は必要なメモリの量に影響を与えます。これらは共にモデルを表示するのに必要なモザイク面の量に影響します。使用するテセレーション乗数値が小さいほど、面のために多くのメモリを必要とします。大きな CAD モデルでは、「メモリの容量不足」エラーが起こる可能性があります。

これが発生した場合、現在の PC-DMIS セッションは不安定な状態になるため強制終了しなくてはなりません。

デフォルトのテセレーション乗数値は 1.0 です。テセレーション乗数を 0.1 に設定するとデフォルト値の 1.0 よりも必要なメモリ容量が 10 から 20 パーセント増加します。さらにテセレーション乗数値を 0.01 に下げると必要なメモリ容量はさらに 50 から 65 パーセント増加します。

- 1GB のビデオ RAM

CPU

2 GHz 以上のクアッドコアプロセッサ

グラフィックス

- デスクトップ対応 : NVIDIA の Quadro K620 のグラフィックスカード
- ラップトップ対応 : Nvidia Quadro K1100M のグラフィックスカード
- RS4 レーザーセンサーを搭載した PC-DMIS を実行しているラップトップに対応 : 4 GB のメモリを搭載した NVIDIA Quadro M3000M グラフィックスカード

グラフィックドライバは OpenGL 3.0 またはそれ以降のバージョンをサポートしている必要があります。ドライバがオープン OpenGL 3.0 を支援しないか、またはグラフィックス・ドライバの使用時間が一年以上になれば、PC-DMIS が開始された時に警告メッセージが現われます。

ハードドライブ

- 2 GB のハードドライブ空き容量に加え、使用される最大の CAD ファイルの 8 倍の仮想メモリを割り当てるべきです。
- SSD ドライブ、HDD 10K、または 2 つのディスクから構築した RAID 0 モード（高性能ハードディスクドライブ）

表示

1280 x 1024 以上の画像解像度

接続性

- 2つのイーサネットポート。これは地域のニーズを考慮して、一つのポートはコントローラで通信に必要されて、もう一つのポートはイントラネット/インターネット通信に必要とされる CMM のシステムに限定されない特定のインストールに必要となる場合があります。
- 2つの USB ポート
- DVD ドライブ
- HASP キー（物理的な USB portlock）またはソフトウェアライセンス



HASP キーは、汎用のデータ記憶の働きをしないので、コンピュータから任意のデータの（ダウンロードする）保存に、HASP キーを使うことができません。同様に、コンピュータ上の任意データをアップロードするのに HASP キーを使用することはできません。さらに、Hexagon Manufacturing Intelligence 社のアプリケーションだけが HASP キーに読み書きできますが、他のアプリケーションにはこの能力がありません。その結果、HASP キーを使用してコンピュータからデータをロードすること、およびコンピュータへデータアンロードすることはできません。

ブラウザ

Internet Explorer 10 以降のバージョン。

アンチウイルスソフトウェア

Hexagon Manufacturing Intelligence は、Sophos Anti-virus ツールを使用して PC-DMIS 2017 R2 をテストします。他のアンチウイルスソフトの性能はユーザーが確認する必要があります。

<http://sophos.com/products/enterprise/endpoint/security-and-control/>

三次元測定機に RS-232 通信を使用するソリューション

RS-232 通信を使用している古い CMM 機種を持つ新規または既存のコンピュータで PC-DMIS 2017 R2 をインストールしている場合、お使いのコンピュータにこれらのソリューションのいずれかをインストールする必要があります。

- 外部 RS-232 シリアル-USB アダプタケーブル及びシリアル-USB アダプタケーブルのドライバ
- シリアルポートを備えた内部シリアルアダプタカード

コマンドラインからのインストーラに LMS のライセンス情報を提供する

LMS のライセンス認証の情報は、コマンドラインを使用してインストーラに送信することができます：

- インストーラはサイレントモード(-q)または基本サイレントモード(-passive)で実行され、正しい情報が提供されている場合は、すべてがユーザーとの対話なしで実行されます。コマンドスイッチ-q は進度バーを表示し、インストーラのエラーを処理します。-passive スイッチはユーザーインターフェイスを非表示にします。
- インストーラがサイレントモードで実行されていない場合、提供された情報が LMS のアクティベーションフォームの入力で使用され、[ライセンス画面](#)がスキップされます。
- -?を提供して、追加のコマンド行引数を確認します。

パラメータの説明は、例とともに、あとに続きます。

説明

USELMSLICENSING= "1" - システムがすでにユーザーが使用している LMS のライセンスを持っている場合のみ、このフラグは有用です。これは、サイレントモードを、ライセンスの選択をユーザーに要求することなく機能することができます。インストーラがサイレントモードで実行されていない場合、それはまだインストールプロセスが（こうして、いくつかの時間が節約された）ライセンス・タイプの選択ダイアログをスキップすることができます。

ENTITLEMENTID = "<entitlement id>" - このパラメータと値は、LMS ライセンスがすでにインストールされていない新しいシステムで有用です。これは、ユーザーが LMS ライセンスを望んでいるし、資格 ID を提供を提供して、使用するか、またはアクティブにすることを示しています。この値が指定されると、**USELMSLICENSING** を指定する必要はあまません。

LMSLICENSESERVERS="server1,server2..." - このパラメータは、ライセンスサーバーと通信するシステムで使用されます。また、ライセンスの種類の選択ダイアログボックスをスキップすることができ、インストールがサイレントモードで行われます。

LMSPROXYHOST="proxyhostaddress" - このオプション・パラメータは、プロキシホストのアドレスを与えます。サイレントモードでは、直接に有効化に使用されます。非サイレントモードでは、この値を使用して有効化のフォームを移入します。

LMSPROXYUSERNAME="user name" - このパラメータは、プロキシユーザー一名のための別のオプションのパラメータです。それは **LMSPROXYHOST** と同じように動作します。

LMSPROXYPASSWORD="unencrypted password" - このパラメータは代理パスワード用の別のオプションのパラメータです。それは **LMSPROXYHOST** と同じように動作します。

LMSURLTOFNOSERVICES="URL to FNO server" - このパラメータは主に内部開発用です。デフォルトの URL は、運用サーバーにあります。この新規値は開発サーバーに既定値と点を上書きすることに使用することができます。

例

ノードにロックされた権利 ID を備えた真新しいシステムにおいては、次のラインが PC-DMIS 2017 R2 をサイレンのモードにインストールします:

-q LMSENTITLEMENTID="99999-88888-77777-66666-55555"

既にライセンスを持っているシステムにおいては、次の行は PC-DMIS 2017 R2 をサイレントモードでインストールします:

-passive USELMSLICENSING="1"

ライセンスサーバーが使用されている真新しいシステムにおいては、下記の行は、PC-DMIS 2017 R2 をサイレントのモードでインストールします:

-passive LMSLICENSESERVERS="123.12.134.42"

ライセンスをもっていない真新しいシステムにおいては、下記の行はライセンス・タイプ選定のダイアログ・ボックスをスキップし、有効化フォームに移入します:

LMSENTITLEMENTID="99999-88888-77777-66666-55555"

LMSPROXYHOST="123.123.123.123" LMSPROXYUSERNAME="bob"

LMSPROXYPASSWORD="marley"

補遺 B

ファイル位置の説明

PC-DMIS 2017 R2 以降では様々なユーザー特有の設定やファイルに対するデフォルトのファイル位置(パスの位置)が変更されました。これらのファイルは、今、各ファイルの役割に基づいて、次の場所に保存されます。

公開文書

測定ルーチン、CAD、プローブ、およびその他のファイル：

C:\Users\Public\Public Documents\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2

デモ CAD ファイル:

C:\Users\Public\Public Documents\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2\CAD

Public Documents (報告するディレクトリー)

レポートテンプレート、ラベルテンプレート、ルール定義、および色定義のファイル：

C:\Users\Public\Public Documents\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2\Reporting

パブリックドキュメント (Fixturing ファイル)

固定治具のファイル：

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS 2017 R2 64-bit\Models\QuickFix

プログラムのデータファイル[隠された]

校正ファイル(comp.dat と compens.dat など)、セットアップ・ファイル(tool.dat、toolc.dat および usrprobe.dat など)および他のファイル:

C:\ProgramData\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2

ユーザーデータファイル

ツールバーとメニューのレイアウト、照明、材料、および設定のファイル:

C:\Users*user name*\AppData\Local\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2

ここで、<ユーザー名>とは Windows のログインユーザー名のことです。

データファイル特有の詳しい説明については、PC-DMIS Core ヘルプの「.DAT ファイルの説明」トピックを参照してください。



また、設定エディタアプリケーションを使用して、ユーザー固有のファイルおよび設定をバックアップ、復元またはクリアすることができます。個別のファイルを手動で削除または復元するよりも、設定エディタに用意されているツールを使用することを推奨します。詳細は「設定エディタ」のヘルプファイルを参照してください。

必要なユーザーアクセス権

PC-DMIS 2017 R2 はファイルシステムおよびレジストリで以下に定義された場所への読み込み、書き出し、および作成のアクセス権を必要とします。

ファイルシステム

Windows 10、Windows 8、Windows 7、及び Windows Vista:

- C:\ProgramData\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2
- C:\Users\Public\Documents\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2
- C:\Users\UserName\AppData\Local\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2
- 測定ルーチン、プローブ、サブルーチン等を保存するための、ユーザー指定のフォルダー位置

レジストリ

これらのバージョンではすべて固有のレジストリ設定を持ち、バージョン固有のキーに保存されています。下記に示す項目はバージョン 2017 R2 用です。

- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Wow6432Node\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2 キーとすべてのサブキー
- HKEY_CURRENT_USER\Software\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2 及びすべてのサブキー
- HKEY_USERS\.DEFAULT\Software\Hexagon\PC-DMIS\2017 R2 すべてのサブキー

付記

新バージョンを始めて起動すると、PC-DMIS は自動的にインストールされた最新の PC-DMIS バージョンから設定をコピーします。これを機能させるために、PC-DMIS を始めて起動する際には管理者権限で実行する必要があります。インストール中、セットアップウィザードで **[PC-DMIS を起動]** チェックボックスをマークすると、管理者権限で PC-DMIS が実行され、この最初のステップが完了します。

この最初の移行は関連するキーのレジストリに自動的に読み込み、書き込み、および作成権を設定します。

レーザーセンサーの固定治具を使用する場合、1 レベル戻って以下のレジストリキーが保存されます：

- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Hexagon\FxtServer
- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Hexagon\PC-DMIS\NCSSENSORSETTINGS
- HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Hexagon\ キーに作成/読み込み/書き込み権限を適用するだけで全てのサブキーにも同じ権限が適用されるため、この方が簡単です。

付録 C

柔軟な治具付きの PC- DMIS の初回インストール

PC- DMIS 製品の権限ルールに準拠するためには、固定具に関連するファイルはこのフォルダにあります：

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS 2017 R2 64-bit\Models\QuickFix

これは、PC - DMIS を実行している PC の管理者権限を必要とせずに、ファイルへのアクセスを許可します。これを達成するには、初めて PC- DMIS をインストールする際に、以下の手順を実行する必要があります。

1. はじめて PC-DMIS および FxtServerInterface をインストールする時に、まずは管理者特権で(PC-DMIS のインストールに請求されたように)FxtServerInterface インストールプログラムを実行します。
2. FxtServerInterface を実行している時には、メッセージは、システムがすべてのデータファイルを上記の「FIVEUNIQUE」文書フォルダに移行することを述べているというメッセージが表示されます。
 - 「はい」を選択すると、ファイルが移動され、元のフォルダは削除されます。
 - 「いいえ」が選択されると、ファイルがコピーされますが、元のフォルダは保存されます。

これが完了されると、ファイルが移動かコピーされて、ユーザが管理者権限なしで FxtServerInterface.exe を実行することができます。